

2013年度 文学部・人間科学部

## 授業評価に関するアンケート調査報告書

2013年3月 文学部・人間科学部  
FD委員会

## 目次

1. 調査実施の概要	1
2. 本報告書の構成	2
3. 2013年度授業評価アンケート回答者数 学科別・学年別（延べ人数）	3
4. 質問項目別平均得点、質問項目間相関係数の算出	4
5. 項目別アンケート集計結果	5
【設問 3】 授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。	5
【設問 4】 この授業科目のために自主的に学習した。	6
【設問 5】 この授業はわかりやすかった。	7
【設問 6】 授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。	8
【設問 7】 この授業は知的魅力（面白さ）のあるものであった。	9
【設問 8】 この授業は自分の学習にとって有益だった。	11
【設問 9】 学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。	13
【設問 10】 自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。	15
【設問 11】 授業に対する教員の熱意を感じた。	16
【設問 12】 授業教室の視聴覚設備は十分であった。	17
【設問 13】 シラバスを読んでこの授業を履修した。	18
【設問 14】 授業をより良くするために工夫できることがあれば書いてください。	19
6. 集計結果全体のまとめ	20

## 1. 調査実施の概要

1999年秋に発足した文学部 FD委員会は、2000年度から毎年、授業に関するアンケート調査を実施し、報告書を取りまとめている。

2010年度に新たに人間科学部が創設されるとともに文学部の改組が行なわれ、今年度はその完成年度になる。文学部と人間科学部の FD委員会では今年度も昨年度同様に人間科学部と文学部が合同でアンケート調査の実施および集計を行うこととした。

これまで文学部と人間科学部では各教員の自発性を尊重しつつ紙媒体によるアンケートを実施してきた。しかし、今年度の第1回 FD委員会（4月23日）で、アンケート調査を紙媒体ではなくオンライン上で行うことで、学生がより参加しやすくなり、各委員によるデータの集計や分析も容易になるのではないかという意見が提案された。その後、第2回 FD委員会（5月23日）で検討した結果、今年度は、専修大学のポータル・サイトのアンケート機能を利用することで、アンケートを実施することにした。さらに、基本的に全教員に最低限1科目はアンケート調査を実施してもらうことで合意した。第3回 FD委員会（6月25日）では、アンケート調査項目の抜本的な見直しを行うと共に、学生が回答しやすいように調査項目を大幅に整理<sup>1</sup>し（昨年は自由記述項目を除いて21項目）、ポータルのアンケート機能で実施できる12項目を立て、11項目は従来通りの選択方式で、12項目目は自由記述欄とすることで同意を得た。第4回 FD委員会（7月16日）には、アンケートのスケジュールおよび作業分担の確認を行い、アンケート内容・実施要領の最終確認を行った。

10月8日（火）の文学部教授会および人間科学部教授会において、アンケート調査の新たな方法の概要を報告し、10月8日（火）から31日（木）まで、文学部と人間科学部の各学科のアンケート実施科目の選定を行った。

ポータル・サイトを利用したアンケート実施に当たっては、文学部と人間科学部の各学科の FD委員がアンケート実施科目それぞれの全受講生をポータルに登録する必要があるため、11月19日（火）には、文学部と人間科学部の各学科の FD委員を対象に、ポータルに登録するための方法についての講習会を行った。その後、FD委員が12月13日（金）までに、ポータルへの登録を行った。

12月16日（月）～1月20日（月）までアンケート調査を実施した結果、延べ2,477人の学生の協力を得ることができたが、昨年度の回答者数の4,886名よりも大幅に下回ってしまった。授業評価アンケートの CSV ファイルのダウンロード、各質問項目に関する度数分布の作成、および授業ごとの集計結果の作成については、文学部・人間科学部教務課の協力のもと、FD委員会各委員が分担して行い、アンケートの個別集計結果は、年度内の3月18日（火）教授会で実施教員に返却し、次年度の授業改善の資料として活用していただくことになった。

来年度の FD委員会への申し送り事項としては以下の3点があげられる。

- ①授業評価アンケート実施方法の検討（アンケート項目・実施期間・具体的な実施方法など）。
- ②授業評価アンケート実施率向上のための方策の検討。
- ③文学部と人間科学部による合同調査の検討。

なお、本報告書作成にあたり、調査にご協力いただいた文学部・人間科学部教員および文学部・人間科学部教務課各位にお礼を申し上げます。

<sup>1</sup>八木紀一郎.(2004). 学生による授業評価データの分析と解釈. 京都大学高等教育研究, 10, 59-66.

## 2. 本報告書の構成

まず、学科別・学年別のアンケート回答者数を集計した。次に質問項目別平均得点、質問項目間相関係数を算出し、その後アンケート項目ごとに回答分布を数値と円グラフで示し、集計結果を記した。また、当該項目にあてはまる自由記述回答（個人的なものではなく全体に関するもののみ）を抜粋して掲載した。最後に集計結果全体の傾向についてまとめた。

### 3. 2013年度授業評価アンケート回答者数 学科別・学年別（延べ人数）

学科 \ 学年	1年次 (13年度)	2年次 (12年度)	3年次 (11年度)	4年次 (10年度)	5年次 以上	その他	合計
【1-1】日本語学科	17	8	13	1	1	0	40
【1-2】日本文学文化学科	104	73	45	6	6	0	234
【1-3】英語英米文学科	20	283	106	37	0	0	446
【1-4】哲学科	49	28	18	7	1	0	103
【1-5】歴史学科	82	104	43	5	4	0	238
【1-6】環境地理学科	39	101	40	11	4	0	195
【1-7】人文・ジャーナリズム学科	70	60	24	10	1	0	165
【1-8】心理学科	102	244	49	4	0	0	399
【1-9】社会学科	169	182	53	15	0	1	420
【1-10】経済学部	39	11	10	8	1	0	69
【1-11】法学部	0	0	0	0	0	0	0
【1-12】経営学部	7	44	10	1	0	0	62
【1-13】商学部	10	33	12	5	0	0	60
【1-14】ネットワーク情報学部	18	13	4	5	1	0	41
【1-15】大学院	0	0	1	0	0	0	1
【1-16】その他	0	0	0	0	4	0	4
合計	726	1184	428	115	23	1	2477

#### 4. 質問項目別平均得点、質問項目間相関係数の算出

<平均、標準偏差(SD)>

No.	項目	平均	SD
Q3	授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。	4.39	.88
Q4	この授業科目のために自主的に学習した。	3.23	1.23
Q5	この授業はわかりやすかった。	3.85	1.09
Q6	授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。	3.96	1.04
Q7	この授業は知的魅力(面白さ)のあるものであった。	4.01	1.07
Q8	この授業は自分の学習にとって有益だった。	4.04	1.02
Q9	学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。	3.71	1.11
Q10	自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。	3.55	1.10
Q11	授業に対する教員の熱意を感じた。	4.25	.92
Q12	授業教室の視聴覚設備は十分であった。	4.21	1.00
Q13	シラバスを読んでこの授業を履修した。	3.85	1.40

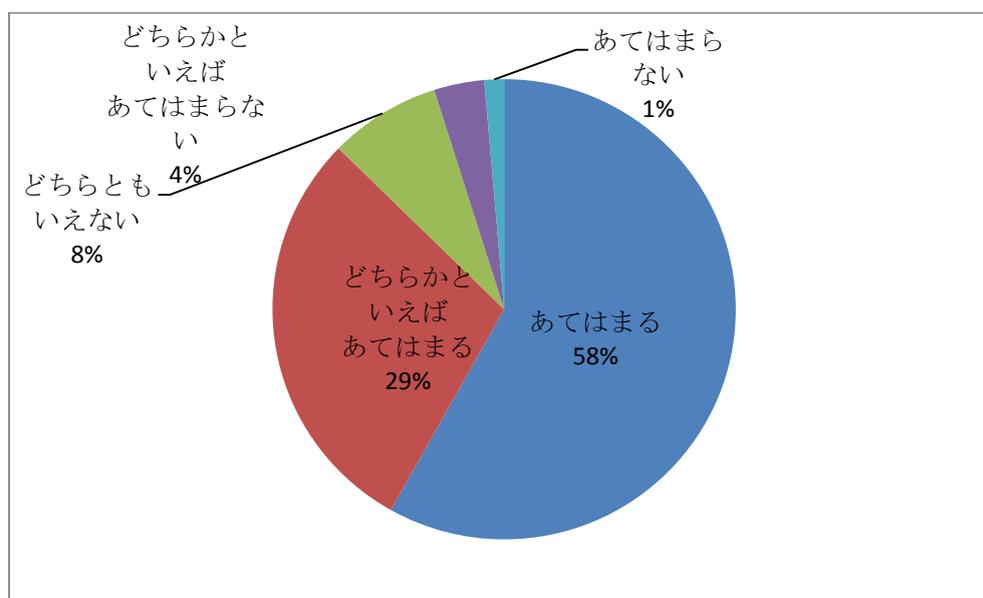
<質問項目間の相関係数>

	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9	設問 10	設問 11	設問 12	設問 13
設問 3	1.000										
設問 4	.319	1.000									
設問 5	.228	.373	1.000								
設問 6	.228	.321	.737	1.000							
設問 7	.218	.351	.693	.631	1.000						
設問 8	.285	.382	.630	.605	.721	1.000					
設問 9	.193	.322	.648	.629	.591	.554	1.000				
設問 10	.251	.443	.565	.506	.582	.593	.580	1.000			
設問 11	.207	.222	.460	.483	.476	.435	.460	.442	1.000		
設問 12	.163	.185	.316	.353	.304	.334	.328	.322	.387	1.000	
設問 13	.127	.216	.270	.209	.264	.212	.258	.247	.221	.194	1.000

## 5. 項目別アンケート集計結果

【設問3】授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。〈出席状況〉

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数(人)	1440	723	193	87	34	0	2477
割合(%)	58	29	8	4	1	0	100



### 【集計結果】

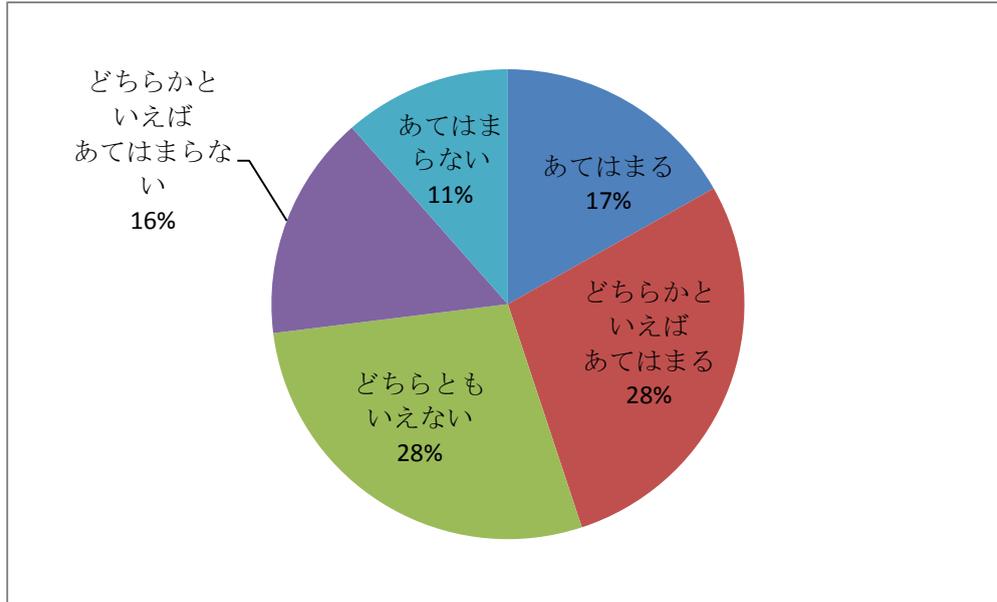
昨年度は、「あなたのこの授業への出席率はどれぐらいですか。」という設問を立てていたのですが、単純な比較はできないが、今年度は「あてはまる」と「ほぼあてはまる」の合計は87%であり、昨年度の「ほぼすべて出席」(76%)と「3分の2程度出席」(17%)の合計93%とそれほど変わらないと言える。

### 【自由記述欄より】

- ・専修大学体育会の試合などで授業に行けなかったことがある。

【設問 4】 この授業科目のために自主的に学習した。〈自主的学習〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	416	697	696	384	284	0	2477
割合(%)	17	28	28	16	11	0	100



【集計結果】

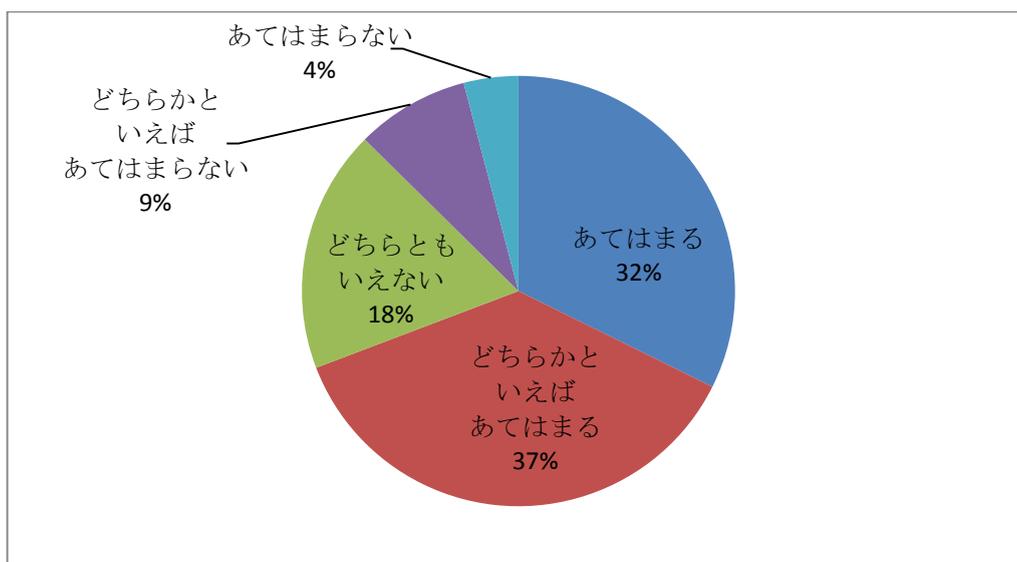
「あてはまる」と「どちらかといえ  
ばあてはまる」の合計は 45%であり、50%を切っている。さらに、「どちらかといえ  
ばあてはまらない」と「あてはま  
らない」の合計が 27%いる点は憂慮すべきである。この設問は、昨年度問うていなかったもので、今後推移を見ていく必要があるろう。

【自由記述回答より】

- ・自分でそれなりに知識を蓄えてきた
- ・内容は少し難し目だったけど、先生がわかりやすく面白く教えてくれたので、興味を持って取り組むことができた。プリントを読み返しても、段階が踏まれているので自主学習しやすかった。

**【設問 5】** この授業はわかりやすかった。〈明解さ〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	801	913	452	210	101	0	2477
割合(%)	32	37	18	8	4	0	100



**【集計結果】**

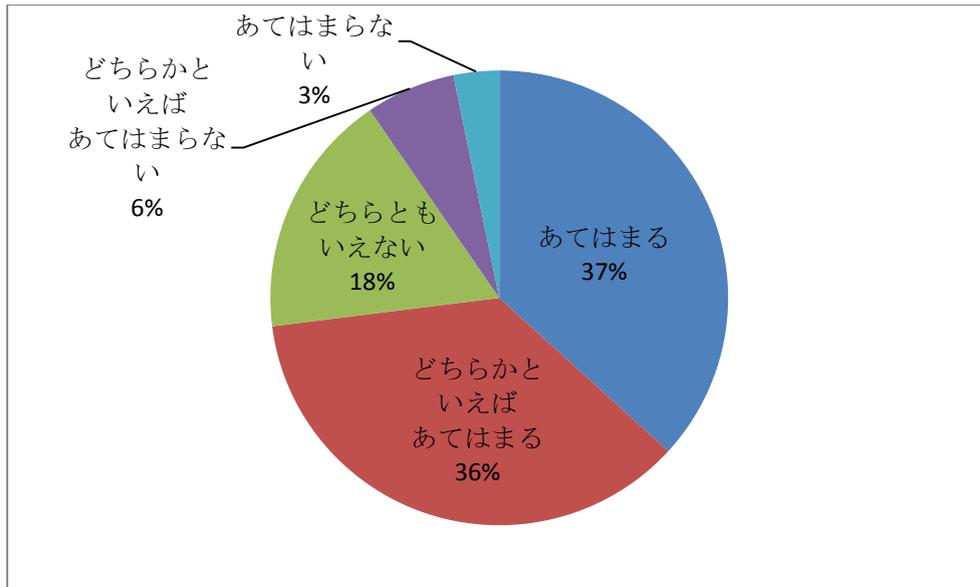
昨年度は、「先生の説明の仕方はわかりやすいですか。」という設問を問うていたので、単純な比較はできないが、昨年度は、「非常にわかりやすい」(32%)と「ややわかりやすい」(30%)の合計は59%で、今年度の「あてはまる」と「どちらかといえ  
ばあてはまる」の合計69%とそれほど変わらない結果と言えよう。

**【自由記述回答より】**

- ・ 文句なしです!!!!すごくわかりやすい授業!!!!
- ・ 専門的な内容だったが分かりやすかったと思う。

**【設問 6】 授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。〈体系性〉**

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまら ない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	903	902	434	158	80	0	2477
割合(%)	37	36	18	6	3	0	100



**【集計結果】**

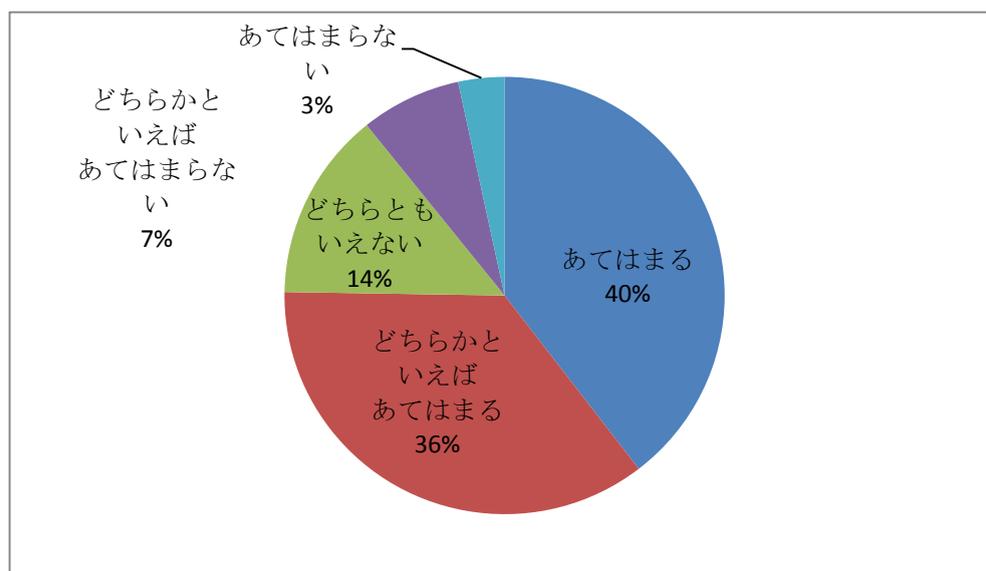
この設問は、昨年度問うていなかったものであるが、「あてはまる」と「どちらかといえ  
ばあてはまる」の合計が 73%であることは満足できる結果と言えよう。

**【自由記述回答より】**

・先生が授業の内容が好きというのはすごく伝わるのだけどあまり計画的な授業に感じなかった。授業の進行が行き当たりばったりな感じがしてわかりづらかった。

【設問 7】 この授業は知的魅力（面白さ）のあるものであった。〈知的魅力〉

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数(人)	980	884	346	183	84	0	2477
割合(%)	40	36	14	7	3	0	100



【集計結果】

この設問に関して、昨年度は「授業で扱われている内容は興味をひくものですか」と問うていたのであるが、昨年度は、「非常に興味をひかれる」(25%)と「やや興味をひかれる」(36%)の合計が61%であるのに対して、今年度は「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計が66%であり、昨年度とほぼ変わらない結果と言えよう。

【自由記述回答より】

- ・資料のどこの部分なのかたまに飛んでわからなかったけど、興味深い内容で楽しかったです。
- ・授業内容はとても分かりやすくおもしろく、ためになる授業であったが、毎回のプリント配布手間や時間を考えると、学生アルバイトを採用して欲しいと思った。
- ・「あの一」、「えっと一」、「その一」が多くて話が聞きづらかった。内容は面白くて魅力的だった。
- ・とても興味深い内容でした。
- ・言うことないです！めちゃめちゃ面白かったです！
- ・授業も分かりやすく、内容もとても興味深くて、とても楽しい講義であった。要望としては、板書をずる時間をもう少し設けてもらえれば、集中して教授の話を聞くことが出来るという風に思う。
- ・お墓についてこんなに詳しく学ぶ機会があるなんて思っていなかったので、授業がとても興味深いもので、半年間貴重な話を聞くことができ楽しかったです。
- ・後期の内容は先生の専門分野ともあってとても興味深い内容でした。
- ・ゲストの方の話を聞くことで新しい発見がたくさんあり、普段学ぶことのできないことが学べました。ただ、現代文化論ということで、メディアの発達やオタク文化などの内容を期待していたので、予想と違い、もう少し身近な文化についても学んでみたかったです。
- ・3限という時間帯のせいか、非常に眠くなる。また、先生の声の聞いていると余計に眠くなる。扱って

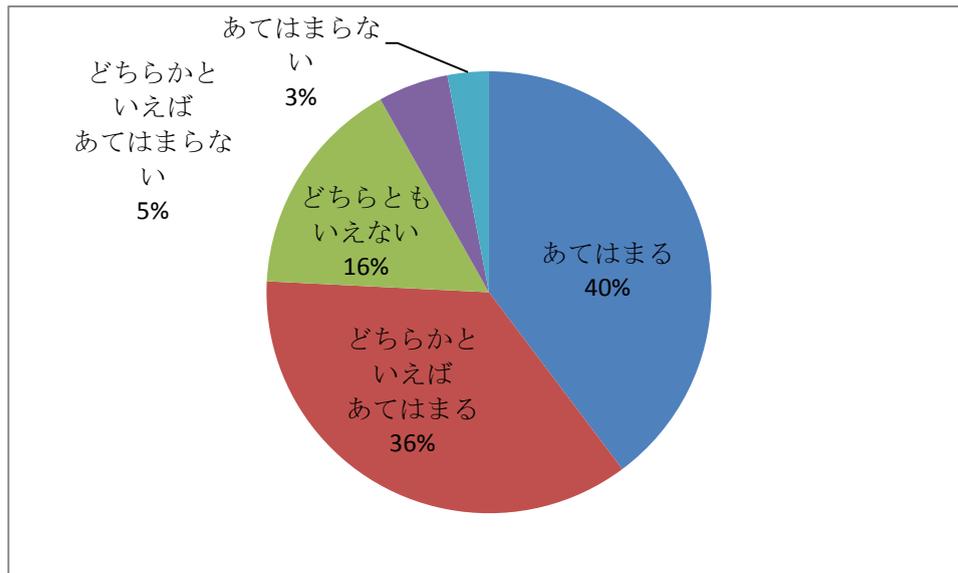
いる内容は非常に興味深いのだが、眠くなるのが難点。

- ・映画を見る際に歴史のものであるためグロテスクなシーンが入るのは仕方が無いが正直そういうものが苦手なので気分が悪くなりました。そのような生徒に対する配慮があればもっと良い授業になると思います。内容自体はまったく知らないことや現在に繋がる歴史を、順を追って学ぶことができたため興味深かったのととてもよかったです。

- ・犯罪を犯した若者たちについて知ることができました。実際の体験が例として話されていて分かりやすかったです。このようなテーマは学ぶ機会がないので貴重な授業でした。

**【設問 8】 この授業は自分の学習にとって有益だった。〈有益度〉**

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・ 無効	合計
人数(人)	980	888	409	126	74	0	2477
割合(%)	40	36	16	5	3	0	100



**【集計結果】**

この設問は、昨年度問うていなかったものであるが、「あてはまる」と「どちらかといえ  
ばあてはまる」の合計が 76%であることは満足できる結果と言えよう。

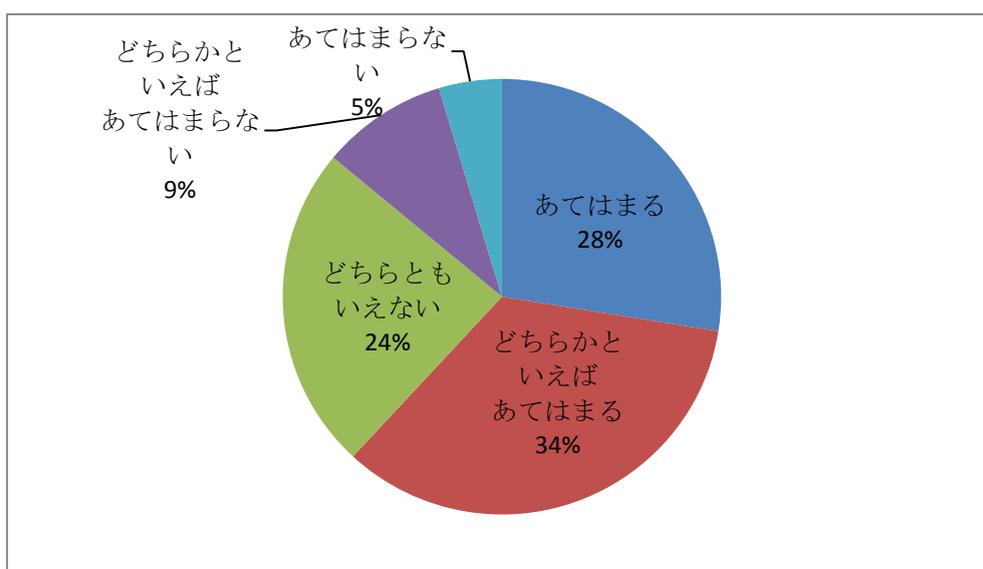
**【自由記述回答より】**

- ・映画使った授業がとても楽しかったです。文字を追って習うよりも視覚や聴覚から感覚を使って学ぶことの大切さを知りました。新しい発見の連続で、とても貴重な授業をしていただきありがとうございました。
- ・とても楽しく授業を受けることができました。
- ・一年間、「言語と社会」の授業を受けて自分のなかにある、世界や文化に対する考え方が変わりました。世界中には様々な違いが存在するけれど、それが良いとか悪いではなく、ヴァリエーションなのだとこの授業で感じることができました。映画や映像を使った授業は、楽しみながら考えることができ、自分が見たことのある映画で今まで気づかなかった部分を知ることができました。ノンバーバル・コミュニケーションがとても印象に残っています。この授業では自分で考えたり、他の生徒さんの発言を聞いて、こういう考え方のひともいるのだな...と知る機会も多くて楽しかったです。また、私は世界の文化に興味があったので、いろんなお話を聞いて、新しいことを吸収できたことがうれしいです。みんなが考えて楽しめる授業だったと思います。
- ・課題は大変でしたが、とても有意義な授業でした。
- ・イギリスの文学として映像を見る授業が多く楽しかったです。でもイギリス文学と他の文化圏との文学の比較とかをやってイギリス文学の特徴などを考えるのもやってみたいと思いました。
- ・考える力がついた気がします。

- ・福祉のことを自分があまり知らなくとも勉強になった。
- ・とても面白くためになった授業でした。
- ・老人ホームに行く機会が得られて良かった。良い体験になった。
- ・また、いろいろなゲストの方のお話を伺うことができるので、いつも楽しみにしています。
- ・特にないです。ゲストもたくさん来てくれて飽きないし、楽しく受けさせてもらいました。ありがとうございました。
- ・非常に楽しい授業です！
- ・映画が面白かった。
- ・授業はとても楽しかったです。
- ・授業とても有益になります。一番好きな授業です！
- ・今のままでいいと思います。いい授業だと思います。

【設問 9】 学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。〈理解度への配慮〉

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数(人)	682	851	598	231	115	0	2477
割合(%)	28	34	24	9	5	0	100



【集計結果】

この設問に関しては、昨年度は「先生は学生の質問や要望にきちんと対応していますか。」と問うていたのだが、昨年度、「大変熱心に対応している」(26%)と「どちらかといえば熱心に対応している」(29%)の合計が55%であるのに対して、今年度は「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計が62%であるので、ほぼ変わらない結果と言えよう。

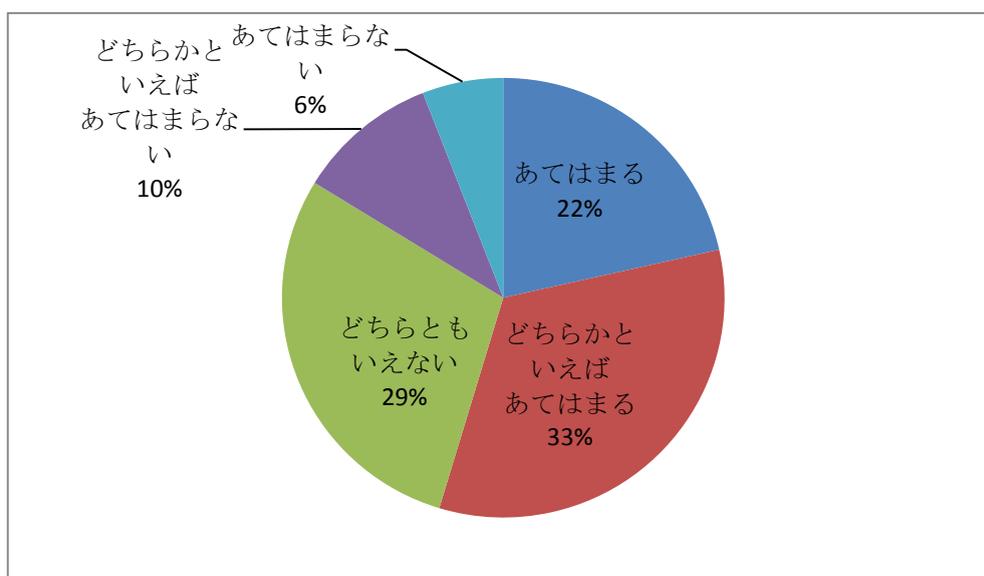
【自由記述回答より】

- ・後期は少し専門的になりすぎているような気がして難しく感じる。前期のように「生きるとは？」などのほうがたのしく授業をうけた。
- ・時間に追われることが多かった。
- ・時間に余裕を持ってなされると、こちらもペースがつかみやすくなってより良いと思います。
- ・授業のスピードが少し速かった気がするので、理解する時間をもう少し設けて欲しいです。以前はプロジェクターに書かれていた文が後期になってからなかったのだから記載していただくとありがたいです。
- ・レナディに資料やパワーポイントをアップしてほしいです。進むのが早かった時は特に。
- ・若干授業スピードが早いかなと思う事がありました。
- ・説明が少し早いと感じたので、もう少しペースをゆっくりにしてほしいです。墓地研究はなかなか授業で取り扱っているところは少ないと思うので、貴重な授業でした。
- ・スライドを変えるのが所々は早かったので、板書を取る時間を取るなどの措置をして頂きたい。

- ・スライドをノートに書き写し終わるタイミングをしっかりと見て次のスライドに進んでくれるので助かります！
- ・レジュメなどが工夫されていて、わかりやすい。授業スピードも丁度いい。
- ・板書が多かったため、ノートに書き写すことに必死でしたが、小テストや試験を通して、授業内容をまとめることができ、よかったです。
- ・ノートをとる量が多すぎるので、レジュメを作るか書く量を減らすかしてほしい
- ・前半のスピードが速く、書くのが大変なのに最後早く終わったり後半スピードがゆっくりになったりしたので、もっと授業のペース配分を考えた方がいいと思った。
- ・前半駆け足で後半は時間が余ることが多かったのもう少し授業の進め方のペース配分を考えて欲しいと思う。
- ・授業の前半はスライドの切り替えが速すぎてついていけなかったりするが、後半時間があることが多かったように思うので1回の授業のペース配分をもう少し考えた方がいいと感じた。
- ・書く量に対してスライド・チェンジが速いので文字を少なくするかスピードを遅くしてほしい。
- ・スライドを切り替えるスピードをあと数秒遅くしてほしいです。
- ・スライドを切り替える時間をもう少し遅くしてほしいです。
- ・発表形式より、自身の考えるメンタル・トレーニング法をレポートにして提出したほうが個別に習熟度が図れて良いのではないかと思います。
- ・スライドを切り替える時間をもう少し遅くしてほしいです。
- ・映画等をただ見るのではなく、伝記等にも通じる本質的な構成などが分かるようにまず説明があり、そのあとに映画を鑑賞することで、この授業での内容に深い理解ができました。
- ・地図や建造物など、プロジェクター等をつかって、図をカラーで大きく表示してから解説していただけるとありがたいです。
- ・教授の授業の進め方すべてわかりやすく、意欲的に学習する気になれるものであった。もう少し動画などを利用して講義を進めていけばよりよくなるのではないかと思います。
- ・レジュメを音読するのはいいのですが、要点が掴みにくかったのもう少しどこが大事かを教えて頂けるとわかりやすいのではないかと思います。
- ・もう少し板書をしていただきたいです。聞き逃してしまった箇所を補えるように。
- ・レジュメの内容をもう少し増やしていただきたいです。史料などのコピーなどを掲載していただいているのはありがたいのですが、口頭での説明のみの授業で、かつ説明が少し早いようにも感じております。出来れば、板書の量を増やすか、レジュメの内容を細かく書いていただけたらと思います。一方的なご指摘、申し訳ありませんが、ご検討よろしくお願いたします。
- ・特に無いと思います。板書も見やすいですし、プリントと映像を使って非常に分かりやすかったです。
- ・板書が簡潔で見やすいのですが、もう少し詳しい内容を板書するか、板書の量を増やさないのならば口頭の説明をもう少しゆっくり話してほしいです。
- ・理解度を増すためにも映像資料をもっと活用してほしいです。
- ・映画鑑賞でより理解が深まった

【設問 10】 自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。〈自発的学習の促進〉

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答・無効	合計
人数(人)	535	826	724	257	135	0	2477
割合(%)	22	33	29	10	6	0	100



#### 【集計結果】

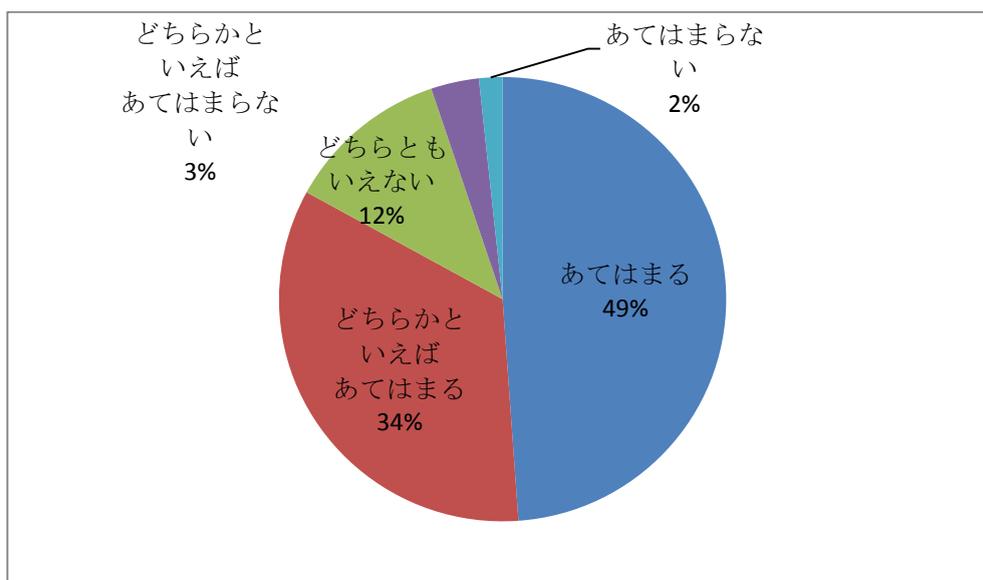
この設問は、昨年度問うていなかったものであるが、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計が 55%であることはおおむね満足できる結果と言えよう。「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の合計が 16%もいることには注意が必要だろう。

#### 【自由記述回答より】

- ・前期後期、後期はまだありますがありがとうございます。お疲れ様です。この授業をとって哲学に興味がわきました！あと短いですが、よろしく願います。
- ・毎授業記事を探してくる課題が年末になってくるとネタ切れで少し大変だった。留学生との授業が1度あったが複数回あってもいいと思います。この授業を履修することができて本当に良かったです。とても充実した一年間でした。英語に対する意欲がかなり出ました。本当にお世話になりました！来年カナダに留学に行きますがその不安も払拭できました。
- ・私個人的にはほとんど注文を付けることがないような大変満足のいく内容の授業なのですが、自発的に勉強する意欲のない生徒に対してのなんらかのアプローチがあればより授業の士気が高まると思いました。
- ・春休みにペンシルバニアに行きます。前期に習った独立宣言の場所でもあるので、実際に行って歴史を感じてこようと思います。

**【設問 11】 授業に対する教員の熱意を感じた。〈教員の熱意〉**

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・無 効	合計
人数(人)	1210	845	293	86	42	0	2476
割合(%)	49	34	12	3	2	0	100



**【集計結果】**

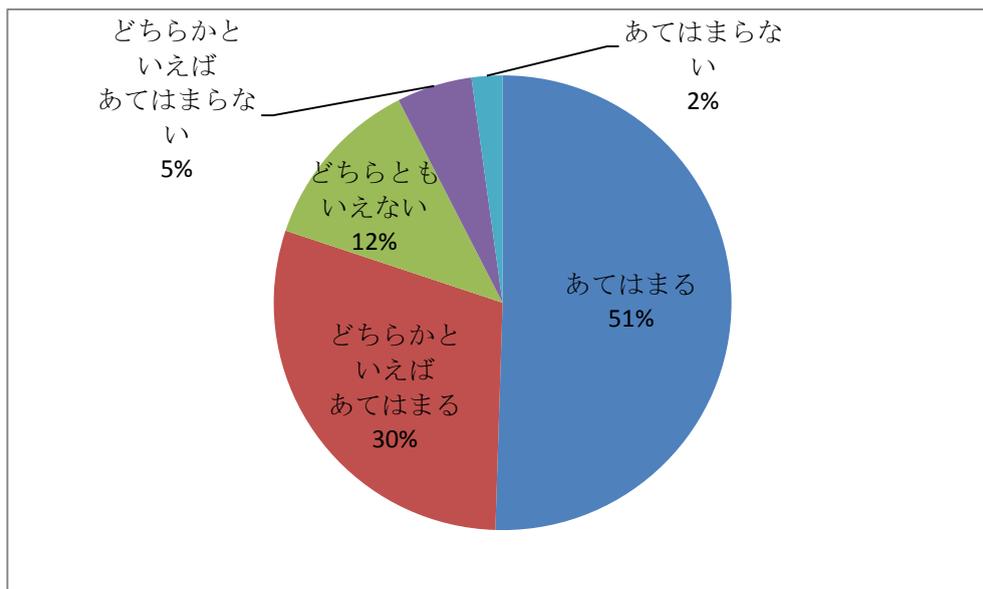
この設問に関しては、昨年度は「授業に対する先生の熱意について、以下のどれが当てはまりますか。」と問っていたのだが、昨年度、「熱意を感じる」(39%)と「どちらかといえば熱意を感じる」(30%)の合計が69%であるのに対して、今年度は「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計が83%であるので、やや増加した結果と言えよう。

**【自由記述回答より】**

- ・この授業を履修して、言葉って面白いなど感じる事ができました。難しい部分もありましたが、考えることがとても楽しいと思える授業でした。先生の熱意も伝わりました。
- ・ごく稀に生徒が教員のテンション、勢いに置いていかれている場面が見受けられるが、面白い授業だった。

【設問 12】 授業教室の視聴覚設備は十分であった。〈授業環境〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・無 効	合計
人数(人)	1251	734	306	132	54	0	2477
割合(%)	51	30	12	5	2	0	100



【集計結果】

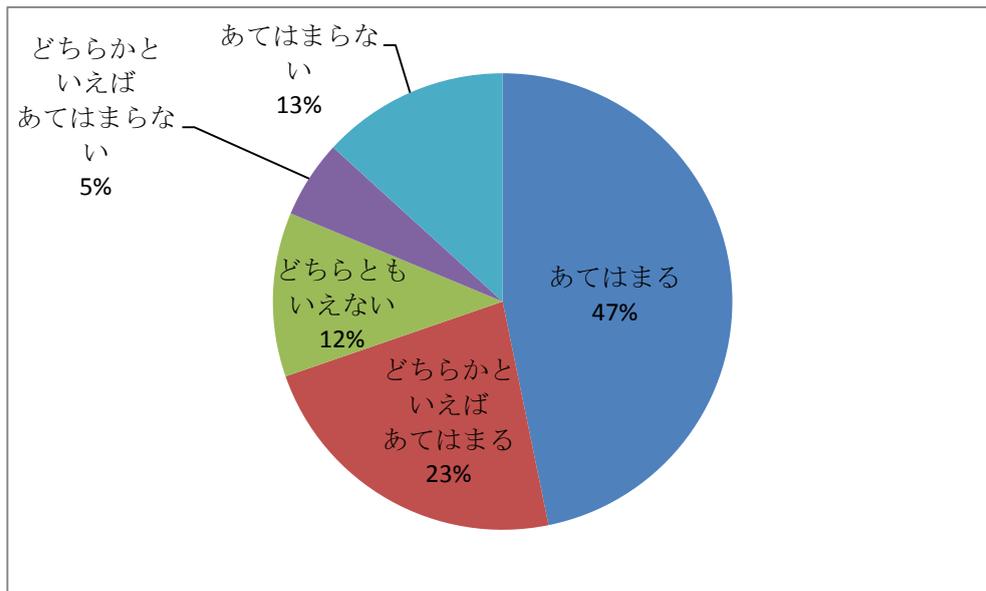
この設問は、昨年度問うていなかったものであるが、「あてはまる」と「どちらかといえ  
ばあてはまる」の合計が84%であることは満足できる結果と言えよう。

【自由記述回答より】

- ・マイクの音をもっとしっかり出したほうがいいと思います。
- ・10号館の教室を使ってほしい
- ・もう少しマイクの音量を上げてもらえると助かります。
- ・映像を見ることが多くて、とても楽しかったです。イギリスの文学、時代背景などたくさん知ることができました。
- ・何度かチョークがなくて隣の教室に取りに行ったりしていたのでそのあたりの改善をしてもらえるといいと思います。授業そのものは基本的にとってもいいものだと思います。強いて言えば、昨年と同じ内容のプリントを使っているようなので、〇〇年を書き直すなどされるといいかと思いました。
- ・教室が狭かったです
- ・マイクを使ったらもっと良かったと思います。
- ・プリントの誤字脱字が多かった。教室をもっと配慮してほしい。
- ・映像や写真といった視聴覚教材を取り入れていただけると、より興味がわき、理解が深まるかなと思います。
- ・ホワイトボードに書くペンを新しくして欲しいです。インクが薄かったです。
- ・部屋が暗すぎると感じましたが、友達は何に気にしてないそうです。

**【設問 13】** シラバスを読んでこの授業を履修した。〈シラバスの活用〉

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらとも いえ	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはま らない	無回答・無 効	合計
人数(人)	1159	567	288	136	327	0	2477
割合(%)	47	23	12	5	13	0	100



**【集計結果】**

この設問に関しては、昨年度は「『講義要項』の内容は、科目履修選択の際に役立ちましたか。」と問うていたのだが、昨年度、「非常に役立った」(21%)と「やや役だった」(33%)の合計が54%であるのに対して、今年度は「あてはまる」と「どちらかといえ  
ばあてはまる」の合計が70%であるので、多少増加したと言えよう。ただし、「どちらかといえ  
ばあてはまらない」と「あてはま  
らない」回答した者、つまりシラバスの内容を参考にせずに受講している学生が3割もいることは憂慮すべきである。

**【設問 14】 授業をより良くするために工夫できることがあれば書いてください。〈その他〉**

- ・レスポンス・ペーパーの他の人の意見が聞きたいと思いました。
- ・レスポンス・ペーパーのことについてもう少し触れて欲しいです。
- ・全体像がよくわからない。部分部分はわかって後から全体を見たとき結局なんだったのかわからない。それぞれの話を繋げて考えられない。
- ・私語が多いので、全体に質問を投げかけて、その後、個人へ質問を投げかけてはいかがだろうか。
- ・パワーポイントが書かれていたりいなかったりでわかりづらかった。話がとびとびで、まとまりがなく、理解しづらかった。
- ・正直、パワーポイントを使った授業は眠くなるので、なるべく板書する形式をとって欲しかったです。あと、配布資料はあってよかったのですが、板書したときに写すためのスペースがあまりなかったのも、テストの時に見づらくなるので、ノートも持ち込み可にして欲しかったです。
- ・レジュメにメモをするスペースがもう少しほしい。レジュメの図が散っていて説明の時どこを説明しているのかわかりづらかった
- ・より身近な現象と結び付けてほしいです。
- ・講義内容の変化があまり見られないのでできればもう少し変化がほしい。"
- ・黒板の字が小さすぎるので講義室の広さを考慮して板書をしてほしいです。毎回毎回同じようなことを繰り返さないで先に進んでください。
- ・スクリーンを使って授業を行っていたが、前半は毎回準備に時間がかかりすぎている印象がある。準備を手早く済ませて授業に入ることができるとよいと思う。
- ・先生の授業はとてもよかったのですが、解説の中に出てくる人名や用語がはっきりと聞き取れないのでできればマイクがもう少し大きな声で言ってもらいたかったです。

## 6. 集計結果全体のまとめ

質問間の相関係数を算出した結果以下のような傾向が示された。

- ・授業態度（Q 3、Q 4）とその他の質問項目との相関は比較的弱かった。
- ・授業内容の評価間（Q 5～Q 8）には強い相関がみられた。
- ・教員の授業態度を尋ねる項目（Q 9～Q 11）では授業内容の評価（Q 5～Q 8）との間に強い相関が確認された。また自主的学習（Q 4）との相関も比較的高いことから、教員の授業態度の向上は、学生の授業態度を向上させる可能性が示唆された。
- ・教室設備（Q 12）、シラバスの活用（Q 13）については全項目を通じて比較的弱い相関があった。

また、今年度は、昨年度の設問を抜本的に見直し、設問の数も削減した。残念ながら、昨年度に比べて回答者数が大幅に減少してしまったため、昨年度のデータとの比較に基づいてと今年度の傾向を語ることは慎重になるべきだろう。来年度以降、設問に対する回答の経年的変化を見ていくことが望ましい。

ただし、以下の6点については、今後、さらに改善していくべき項目として、注意を要する。

- ①自主的な学習を行わずただ授業に参加している学生が3割近くいる。（【設問4】）
- ②授業がわかりにくいと感じている学生が13%いる。（【設問5】）
- ③授業が学生の理解度や反応に配慮されていないと感じている学生が14%いる。（【設問9】）
- ④自発的に学習・探求するための指針や助言を授業で得られなかったと感じている学生が16%いる。（【設問10】）
- ⑤授業教室の視聴覚設備が十分でなかったと感じている学生が17%いる。（【設問12】）
- ⑥講義要項（シラバス）を読まずに、受講している学生が18%いる。（【設問13】）

これらの6項目のうち、②③⑥に関しては、設問の仕方は変わったとは言え、昨年度とほぼ同じ傾向を示している。さらに、⑤については、授業教室の視聴覚設備が十分でないという根本的な問題もあるものの、自由記述欄を見てみると、教員が、「マイクを使用していない」とか、「視聴覚設備を十分に活用していない」という教員自体の問題についての指摘が多い。それに関連して、③については、PowerPointのスライドについての問題点の指摘も数多く見られた。一定水準以上の授業レベルを維持しながらも、視聴覚教材の導入やPowerPointによるプレゼンテーションの工夫によって、多くの学生が知的関心をもって授業に臨めるような改善も必要であろう。

さらに、受講する学生の側の問題も顕著である。①④⑥に見られるように、シラバスを読まずに授業を受講し、自主的な予習・復習をせずに授業に臨み、自発的な学習の契機を得られなかったと感じている学生が一定数いることも踏まえた上で、演習科目はもちろんのこと、講義科目でも、ますますきめ細かい指導が求められていると言えるだろう。

以上

（文学部・人間科学部FD委員会）